

脊負つた資本家階級は「國家主義」の看板に依つて反動諸勢力と通謀し必死の苦悶と足掻きを以て資本主義の最後の延命を策する即ち資本の國家主義對立の尖鋭化は内に於ては労働階級に最悪の條件を強制し失業群の氾濫する街頭へ更らに多くの労働階級を追放し労働階級を生命の窮地に追ひ詰め、只だ一途に労働階級の犠牲と迫害に依つてのみ資本主義の延命、再建を陰謀し外に於てはダンピングに依る海外新市場争奪の無軌道の競争、互恵條約の廢棄に依る關稅高壁の對立競争並に新植民地獲得の狂暴なる抗争により、國際經濟戦争が必然に世界武力戦争へ轉換する危機が切迫して労働階級の苦難は急角度に増大加重する。

重工業中心の九州地方には資本の國家主義對立激化とインフレイション政策の並行に依り所謂軍事インフレがシテ動し、限りなき労働階級の犠牲と搾取の上に資本家の利潤は著しく増大されてゐる。

財團協調會福岡出張所